日本航空 OB 乗員
有志の会ニュース

2013. 02. 08

No.13-006

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

日本航空第 3 四半期決算報告 2 月 4 日

2013 年 3 月期営業利益予測

1,500 億円⇒ 1 , 650 億円⇒1,860 億円

配当性向 20%へ上方修正

B787 運航停止を加味しても

高収益　一方職場は？

日本航空は、2 月 4 日にJALグループ 2013 年 3 月期第 3 四半期連結業績の概況を発表しました。

過去の営業利益を振り返ると 2010 年度 1884 億円、2011 年度 2049 億円、そして第 3 四半期の 2013 年 3 月期（2012 年度決算）予測はB787 運航停止の状況を加味しても上方修正して 1860 億円となることを、日本航空は 2 月 4 日に発表しました。配当性向も上方修正し 20%を想定しています。

一方職場の状況は、前回のニュース(No. 13－005)中でお知らせした通り、乗員速報（59－086）によれば、従来の諸問題に加えて、B787 の運航停止により問題点が更に鮮明になり安全問題・乗務手当保障問題・勤務問題の緊急要求が出ています。

JALグループ　平成 25 年 3 月期　第 3 四半期連結業績の概況

日乗連

IFALPA各国協会に支援を要請

日乗連 LEGAL　COMM 報告（日乗連ニュース 36－20）

ALAPA Japan Legal 委員会は、2012 年 10 月の委員会で、JAL整理解雇問題の現状報告とともにALPA Japanは勝利を得られるまで原告とともに闘い続けるとして、その闘争に対する支援をIFALPAと各国ALPAに要請しました。

① ILO勧告の後に新たなIFALPA声明

② 東京高等裁判所に提出する書面要請に向けて、各国ALPAに支援要請文書

③ IFALPA及び各国ALPAから日本に対するメッセージ等

④ 次回Legal委員会を日本に招致する。

日乗連B787 運航停止に関わる見解

日乗連は、B787 型機の運航停止に関して、見解（1 月 21 日）を発表しました。

日乗連ニュース 36－19

皆様、引き続き整理解雇撤回を

支援する為のカンパに

ご協力宜しくお願い致します